

看護専門科目	臨床応用専門科目					
看護学科	必修	1 単位	演習	平成30年度	前期	3 年次
科目名	精神看護学実践論Ⅱ（生活の場における看護） Psychiatric and Mental Health Nursing II (Nursing at Home)					
担当教員	◎高橋里沙 岡本響子 國井由加利					
目的	精神疾患を持つ対象の回復を助けるために必要な治療的援助関係を理解し、生活支援のための保健医療福祉サービスの実際、精神科リハビリテーションの実際、地域での看護がわかる					
目標	① 対象を理解するための考え方について、心理学的・社会的側面から理解する ② 医療的治療について理解し、ケアの方法がわかる ③ コミュニケーション技法について理解する ④ 対象を取り巻く生活、地域、治療環境を理解する ⑤ 災害時における心のケアが理解できる					
他科目との関連	心理学 臨床心理学 社会福祉原論 精神看護学実践論Ⅰ・Ⅲ 精神看護学実習Ⅰ・Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	総合的評価として筆記試験を行う				0.7
	記録等	小レポート・感想ノート他				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社					
参考資料	当事者研究に関する著作※図書館に多数あり					
備考 (受講上注意、事前学習等)	精神看護学実践論Ⅰで使用した授業資料を持参すること。テキストを忘れないこと/ゲストスピーカーの日程の都合で授業内容が前後する回があるかもしれません。					